

AOTCA ネパール会議 2025 に参加

2025 年 11 月、長谷部特別顧問は、AOTCA（アジア・オセアニアタックスコンサルタント協会：Dr. Ruston Tambunan 会長：インドネシア税理士会選出）の年次大会（開催地ネパール国、カトマンズ）の役員会、総会、タックスカンファレンスに参加した。

今回の総会では、一般社団法人の定款、ウズベキスタン税務協会の正会員加入が審議され、全ての議案が可決承認された。これで、加盟団体は正会員 20 (16 の国・地域) となった。

経済成長が著しく、かつ、税務における DX 化、高度化が進むアジア地域では、税務専門家による専門サービスが益々重視されている背景がある。カンファレンスでは、OECD が提唱する BEPS2.0 に加え、中小企業への専門家としての支援、DX 対応や職業倫理などのトピックが議論された。2026 年は香港で開催される。

*AOTCA は CFE (ヨーロッパ租税連合)、WAUTI (西アフリカ租税連合) とともに共同のプラットフォーム (GTAP) を形成し、国際的な税制の適正化に取り組む OECD (経済協力開発機構：パリ) からのパブリックコメント提出の要請などに対応している。

【長谷部顧問のコメント】

－花束の少女の瞳－

初めて訪れた「神々の聖地」・ネパールで印象深かったのは、国民の純朴さと家族の強い絆でした。街で出会う人に「ナマステ」と声をかけると、合掌しながら、優しく礼を返してくれます。特に、狭隘な国際空港の駐車場にまで人だかりがひしめいていたのは、帰国家族を一家総出で出迎える習慣からと知り驚きました。なかでも出迎え家族のうち最年少の少女が、くりくりした瞳で手製の花束を大切に握りしめている光景からは、現代日本では、すでに失われた何かを感じ取りました。ネパールの GDP は 7 兆円弱 (2025 年予測) で主な産業は農業と観光。経済の豊かさと心の豊かさの関係性について、改めて考えさせられる旅となりました。ダンニヤバード。



カトマンズの朝市、新鮮な野菜や果物が並ぶ。



Dr.Ruston Tambunan AOTCA 会長



CFE 会長兼 GTAP 議長の Prof.P.Valente 氏（イタリア）も壇上に。